

尾 鷲 の 環 境 デ ー タ 集

(平成28年度版)

尾鷲市 環境課

はじめに

本データ集は、市内の大気環境と海域、河川等の水環境、騒音等の生活環境を把握し、環境保全対策上の基礎資料とするため、各々実施した調査の原データを集約したものであり、行政資料としてはもとより、広く各方面で活用していただくことを目的に作成したものです。

なお、本冊以外のデータも別添ファイルにてご覧いただけますので、ご活用下さい。

目 次

第 1 章 大 気 質 編

大 気 質 調 査 の 概 要	1
フ ァ イ ル 名 一 覧	3
表 . 大 1-1 一 般 環 境 大 気 測 定 局	4
表 . 大 1-2 一 般 環 境 大 気 測 定 項 目 お よ び 測 定 方 法	5
表 . 大 2-1 そ の 他 大 気 質 調 査 地 点	5
図 . 大 1 大 気 質 調 査 地 点 位 置 図	6

大 気 環 境 調 査 結 果 （ 概 要 ）

表 . 大 1-2 一 般 環 境 大 気 調 査 結 果 の 経 年 変 化	7
表 . 大 2-2-1 降 水 中 の p H （ 加 重 平 均 値 ） の 経 年 変 化	1 0
表 . 大 2-3-1 降 下 ば い じ ん （ 年 平 均 値 ） の 経 年 変 化	1 0
表 . 大 2-4-1 浮 遊 粒 子 状 物 質 （ 年 平 均 値 ） の 経 年 変 化	1 0

第 2 章 水 質 編

水 質 調 査 の 概 要	1 1
フ ァ イ ル 名 一 覧	1 3
調 査 測 点 一 覧	1 4
図 . 水 1-1 公 共 用 水 域 調 査 測 点 （ 海 域 ）	1 5
図 . 水 1-2 公 共 用 水 域 調 査 測 点 （ 河 川 ・ 下 水 路 ）	1 6

水質調査結果（抜粋）

表．水 1-1-6	海域水質経年変化	17
表．水 1-2-2	河川下水路水質調査	25
表．水 1-3	海域底質調査結果	31

第3章 騒音・振動・低周波空気振動編

騒音・振動・低周波空気振動調査の概要	32
--------------------	----

ファイル名一覧	33
図．騒 1 環境騒音調査地点	34
図．振 1 道路交通振動調査地点	35
図．騒 2 自動車騒音常時監視	36

騒音・振動・低周波空気振動調査結果（抜粋）

表．騒 1-1	環境騒音・交通振動基準値および達成状況	37
表．騒 1-2	環境騒音調査結果	38
表．騒 1-2-3	交通振動調査結果	40
表．騒 1-3-1	自動車交通騒音測定結果	41
表．騒 1-3-2	環境基準適合率（面的評価）	42

資料編

（1）	大気質関係	43
（2）	水質関係	48
（3）	騒音・振動関係	54

第 1 章 大 氣 質 編

第 1 章 大気質調査

1 はじめに

調査は、当市における大気質環境要因を把握し、大気質環境保全対策上の基礎資料とするため、一般環境大気測定局での調査と、酸性雨・降下ばいじんなどその他大気質調査の 2 つに大別し実施した。

1.1 一般環境大気測定局における調査

1.1.1 調査方法

(1) 調査期間

平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月までの 1 年間

(2) 調査地点

調査は、図. 大 1, 表. 大 1-1 に示したテレメータ化された市街地域 1 局と対照地域 2 局で行った。

(3) 測定項目

測定項目および方法については、表. 大 1-2 に示した。

1.1.2 測定結果

本編では、測定結果の一部を掲載した。

(1) 経年変化

測定項目別に過去 10 年間の年平均値を表. 大 1-2-1～表. 大 1-2-6 に示した。

(2) 年間値

測定項目別に年間値をファイル H28 年間値・月間値に示した。

1.2 その他大気質調査

1.2.1 調査方法

(1) 調査期間

平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月までの 1 年間

(2) 調査地点および項目

調査は、図. 大 1, 表. 大 2-1 に示した地点で行った。

1.2.2 測定結果

本編では、測定結果の一部を掲載した。

(1) 酸性雨調査

調査結果を表. 大 2-2-1 に示した。

(2) 降下ばいじん調査

調査結果を表. 大 2-3-1～表. 大 2-3-2 に示した。

(3) 浮遊粒子状物質調査

調査結果を表. 大 2-4-1～表. 大 2-4-2 に示した。

1.3 ファイル名一覧

測定結果は、大気データ集に保存。なお、ファイル名については、以下に示した。

一般環境大気測定局における調査

ファイル名	表 題
大気データ	表. 大 1-2-1 二酸化硫黄 (SO_2 : 年平均値) の経年変化
	表. 大 1-2-2 浮遊粒子状物質 (SPM : 年平均値) の経年変化
	表. 大 1-2-3 光化学オキシダント (O_x : 昼間の日最高 1 時間値の年平均値) の経年変化
	表. 大 1-2-4 一酸化窒素 (NO : 年平均値) の経年変化
	表. 大 1-2-5 二酸化窒素 (NO_2 : 年平均値) の経年変化
	表. 大 1-2-6 窒素酸化物 ($\text{NO} + \text{NO}_2$: 年平均値) の経年変化
	表. 大 1-2-7 非メタン炭化水素 (NMHC : 年平均値) の経年変化
	表. 大 1-2-8 メタン (CH_4 : 年平均値) の経年変化
	表. 大 1-2-9 全炭化水素 (THC : 年平均値) の経年変化
大気測定局 年間値・月間値 (平成 28 年度)	

その他大気質調査

ファイル名	表 題
大気データ	表. 大 2-2-1 降水の pH (加重平均値) の経年変化
	表. 大 2-3-1 降下ばいじん (年平均値) の経年変化
	表. 大 2-3-2 降下ばいじん (月間値)
	表. 大 2-4-1 浮遊粒子状物質 (年平均値) の経年変化
	表. 大 2-4-2 浮遊粒子状物質 (月間値)

表. 大 1-1 一般環境大気測定局

	NO	測 定 局 名	所 在 地 等	測 定 項 目			
				SO ₂	SPM	NO _x	WD, WS
市街地域	1	尾 鷲 市 役 所	尾鷲市中央町 10-43	○	○	○	○
対象地域	2	三 木 里	尾鷲市三木浦町 638 三木里小学校	●		●	●
	3	賀 田	尾鷲市賀田町 318-36 賀田第二送水場	●		●	●

(注) ●は、テレメーター化していないものを示す。

表. 大 1-2 一般環境大気測定項目および測定方法

測 定 項 目	測 定 方 法	測 定 項 目	測 定 方 法
二酸化硫黄 (SO ₂)	溶液導電率法による自動測定	浮遊粒子状物質 (SPM-β)	β線吸収法による自動測定
窒素酸化物 (NO _x)	ザルツマン試薬を用いる吸光光度法による自動測定	浮遊ふんじん (SP)	光散乱法による自動測定
一酸化窒素 (NO)		風向風速 (WD・WS)	発電式風車型
二酸化窒素 (NO ₂)			
窒素酸化物 (NO+NO ₂)			

表. 大 2-1 その他大気質調査地点

	NO	地点名	所在地等	測 定 項 目		
				浮遊粒子状物質 1)	降下ばいじん 2)	酸 性 雨 3)
市外地域	1	市 役 所	尾鷲市中央町 10-43 市役所南館	○	○	○
周辺地域	2	曾 根	尾鷲市曾根町 840-4 賀田消防署裏	○	○	

注) 1 サイクロン式ローバリュームエアサンプラー方式

2 簡易ばいじんびん法

3 ろ過式

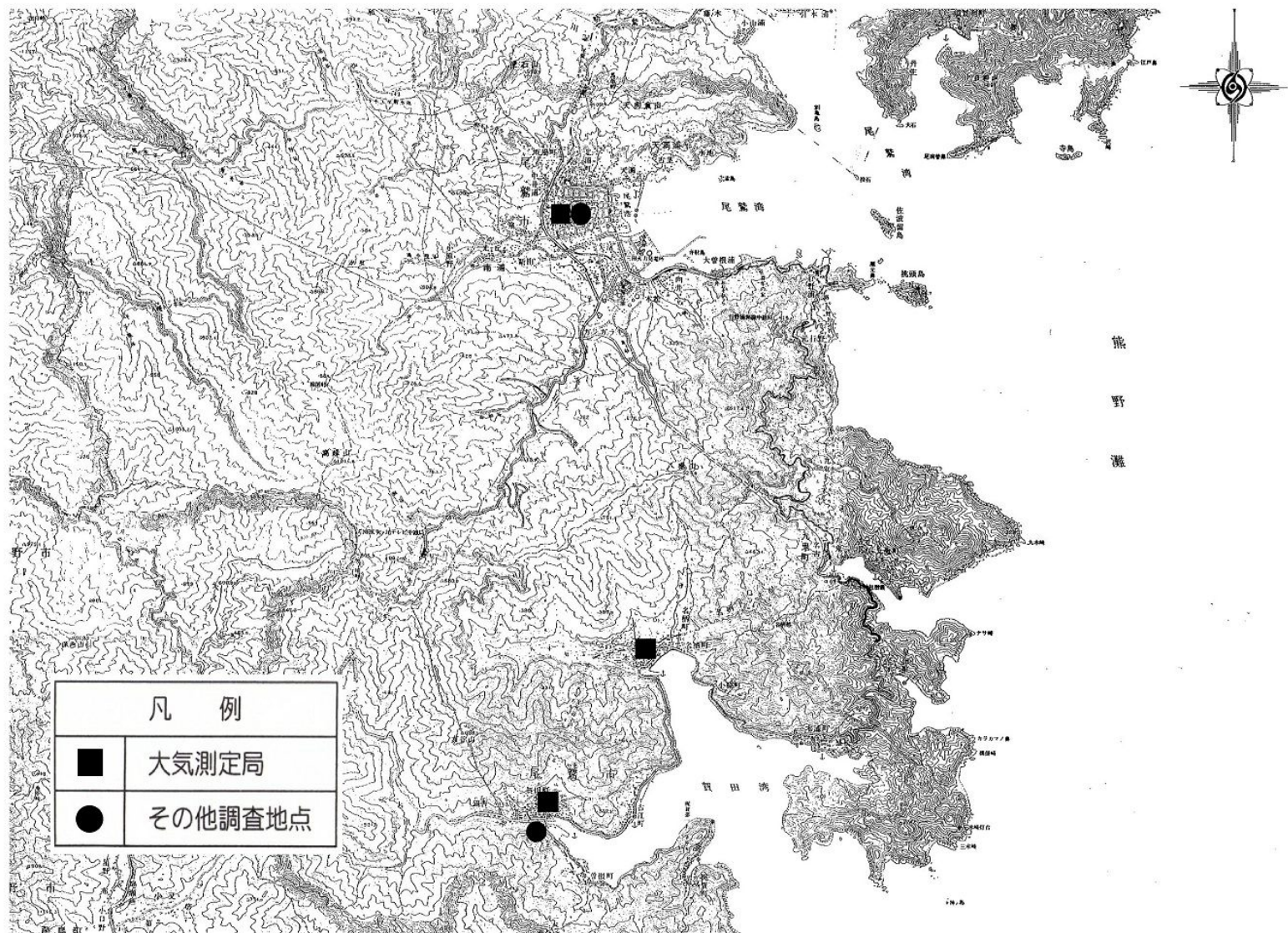


図. 大 1 大気質調査地点位置図

表. 大1-2-1 二酸化硫黄(SO₂ : 年平均値)の経年変化

単位: ppm

年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
向 井	0.002	0.001	0.002	－	－	－	－	－	－	－
矢浜小学校	0.001	0.001	0.002	0.002	0.000	0.000	－	－	－	－
尾鷲市役所	0.001	0.001	0.001	0.002	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天 満	0.001	0.000	0.000	－	－	－	－	－	－	－
三 木 里	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
賀 田	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.003	0.002	0.002	0.002

* 平成21年度の向井・天満については、平成21年4月～11月の値

表. 大1-2-2 浮遊粒子状物質(SPM: 年平均値)の経年変化

単位: mg/m³

年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
向 井	0.013	0.012	0.010	－	－	－	－	－	－	－
矢浜小学校	0.022	0.018	0.014	0.013	0.015	0.014	－	－	－	－
尾鷲市役所	0.011	0.004	0.007	0.015	0.016	0.017	0.015	0.008	0.008	0.008
天 満	0.017	0.014	0.013	－	－	－	－	－	－	－

* 平成21年度の向井・天満については、平成21年4月～11月の値

表. 大1-2-4 一酸化窒素(NO:年平均値)の経年変化

単位: ppm

年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
向 井	0.001	0.001	0.001							
矢浜小学校				0.001	0.000	0.000				
尾鷲市役所	0.003	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
天 満	0.001	0.001	0.001							
三 木 里	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001
賀 田	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001

* 平成21年度の向井・天満については、平成21年4月～11月の値

表. 大1-2-5 二酸化窒素(NO₂:年平均値)の経年変化

単位: ppm

年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
向 井	0.003	0.003	0.003							
矢浜小学校				0.004	0.004	0.004				
尾鷲市役所	0.006	0.005	0.007	0.007	0.006	0.005	0.006	0.005	0.005	0.004
天 満	0.004	0.003	0.003							
三 木 里	0.003	0.002	0.003	0.003	0.001	0.003	0.002	0.003	0.002	0.002
賀 田	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001

* 平成21年度の向井・天満については、平成21年4月～11月の値

表. 大1-2-6 窒素酸化物($\text{NO} + \text{NO}_2$:年平均値)の経年変化

単位: ppm

年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
向 井	0.005	0.004	0.004							
矢浜小学校				0.005	0.005	0.005				
尾鷲市役所	0.009	0.008	0.009	0.008	0.007	0.006	0.007	0.006	0.006	0.008
天 満	0.004	0.005	0.004							
三 木 里	0.004	0.003	0.004	0.004	0.002	0.005	0.003	0.004	0.003	0.003
賀 田	0.003	0.003	0.003	0.003	0.002	0.003	0.001	0.002	0.002	0.002

* 平成21年度の向井・天満については、平成21年4月～11月の値

表. 大2-2-1 降水のpH(加重平均値)の経年変化

年 度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
ろ過式採取による 年平均値	4.58	4.63	4.74	4.92	5.12	4.84	4.92	4.70	4.91	4.93

表. 大2-3-1(1) 降下ばいじん(年平均値)の経年変化

総 量 単位:t/km ² /月		
年度	市役所	賀 田
19	6.68	17.23
20	6.88	12.75
21	8.06	8.97
22	5.36	6.94
23	9.56	12.58
24	6.83	8.15
25	3.42	8.82
26	4.18	5.63
27	4.63	5.80
28	2.78	3.86

表. 大2-4-1 浮遊粒子状物質(年平均値)の経年変化

総 量 単位:mg/m ³		
年度	市役所	賀 田
19	0.028	0.013
20	0.032	0.022
21	0.032	0.027
22	0.027	0.028
23	0.027	0.030
24	0.026	0.036
25	0.027	0.038
26	0.029	0.030
27	0.025	0.025
28	0.020	0.019

第 2 章

水 質 編

第2章 水質調査

1 はじめに

調査は、当市における水質環境要因を把握し、水質環境保全対策上の基礎資料とするため、市内の海域・河川などにおいて実施した。

1.1 海域調査

(1) 調査期間、頻度

平成28年4月から平成29年3月までの間、尾鷲湾では年12回（月1回）、賀田湾、九木・早田港では年4回（各季1回）実施した。

(2) 調査測点、測定層

調査は、図.水1-1に示す、尾鷲湾5測点、九木・早田港4測点、賀田湾5測点の合計14測点で実施した。また、水温、塩分、溶存酸素量の測定層は、0～10mまでは1m毎、10m～底層までは5m毎、および底上1m層（B-1m層）とし、化学分析項目については0.5m層で採水した。

(3) 調査項目、測定・分析方法

- ◆水温 : YSI 多項目水質計(600QS-0-M)
- ◆塩分 : YSI 多項目水質計(600QS-0-M)
- ◆D O : YSI 多項目水質計(600QS-0-M)
- ◆透明度 : セッキ板
- ◆酸素飽和度 : $(D O / \text{飽和酸素量}) \times 100$
- ◆P H : JIS K 0102.12
- ◆C O D : JIS K 0102.17
- ◆大腸菌群数 : 最確数による定量法
- ◆油分 : JIS K 0102.24
- ◆M B A S（陰イオン界面活性剤） : JIS K 0102.30.1
- ◆T-N（全窒素） : JIS K 0102.45.4
- ◆T-P（全リン） : JIS K 0102.46.3.1

1.2 河川・下水路調査

(1) 調査期間、頻度

平成28年4月から平成29年3月までの間、河川、下水路で年4回実施した。

(2) 調査測点

調査は、図. 水 1-2 に示すように、尾鷲地区 4 河川、輪内地区 3 河川の合計 7 河川、下水路は尾鷲地区 4 下水路を対象にした。
採水地点は、原則として各流域の最終的な水質を反映すると考えられる最下流域とした。

(3) 調査項目、測定・分析方法

◆流量	: プロペラ式流速計	◆油分	: JIS K 0102. 24
◆水温	: JIS K 0102. 7. 2	◆M B A S	: JIS K 0102. 30. 1
◆透視度	: JIS K 0102. 9	◆塩化物イオン	: 上水試験法 35. 2
◆P H	: JIS K 0102. 12. 1	◆T-N (全窒素)	: JIS K 0102. 45. 4
◆B O D	: JIS K 0102. 21	◆T-P (全リン)	: JIS K 0102. 46. 3. 1
◆C O D	: JIS K 0102. 17	◆B O D 負荷量	: B O D × 流量
◆S S	: JIS K 0102. 14. 1	◆T-N 負荷量	: T-N × 流量
◆D O	: JIS K 0102. 32. 1	◆T-P 負荷量	: T-P × 流量
◆大腸菌群数	: 最確数による定量法		

1.3 海域底質調査

(1) 調査日

平成 28 年 9 月 7 日に実施した。

(2) 調査測点

図. 水 1-1 に示す尾鷲湾 4 測点 (St. 1, St. 2, St. 3, St. 4) で実施した。

(3) 採泥方法

エクスマンバージ採泥器を用い底層の表層部を採取した。

(4) 調査項目、分析方法

調査項目、および分析方法は次のとおりである。

◆乾燥減量	: 底質調査方法 II 3 乾燥減量
◆強熱減量	: 底質調査方法 II 3 強熱減量
◆粒度分布	: JIS A 1204 粒度分布 (ふるい方)
◆P H	: 水質汚濁調査指針 (日本水産資源保護協会)
◆C O D _{sed}	: 底質調査方法 II 20 過マンガン酸カリウムによる酸素消費量 (C O D _{sed})
◆硫化物	: 底質調査方法 II 17 硫化物

2 測定結果

本編では、測定結果を抜粋し掲載した。

2.1 海域調査

調査結果を表. 水 1-1 に示した。

2.2 河川・下水路調査

調査結果を表. 水 1-2 に示した。

2.3 海域底質調査

調査結果を表. 水 1-3 に示した。

2.4 ファイル名一覧

全ての測定結果は、水質データ集に保存。なお、ファイル名については、以下に示した。

水質データ集

ファイル名	表	題
水1-1-1	表. 水1-1-1(1)～(15)	海域水質調査結果 項目：水温
水1-1-2	表. 水1-1-2(1)～(15)	海域水質調査結果 項目：塩分
水1-1-3	表. 水1-1-3(1)～(15)	海域水質調査結果 項目：溶存酸素量
水1-1-4	表. 水1-1-4(1)～(15)	海域水質調査結果 項目：酸素飽和度
水1-1-5	表. 水1-1-5(1)～(15)	海域水質調査結果 採水層：0.5m
水1-1-6	表. 水1-1-6(1)～(8)	海域水質経年変化 採水層：0.5m
水1-2-1	表. 水1-2-1(1)～(11)	河川下水路水質調査結果
水1-2-2	表. 水1-2-2(1)～(6)	河川下水路水質経年変化
水1-3	表. 水1-3	海域底質調査結果

調査測点一覧

測点 測定項目		海 域				河 川							下 水 路			
		尾鷲湾	九木港	早田港	賀田湾	北川	中川	矢ノ川	又口川	沓川	八十川	古川	中村山	林町	中川	矢ノ浜
一般項目	流量					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	水温	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	透視度	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	pH	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	DO	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SS					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	COD	◎	○	○	○	○							○	○	○	○
	BOD					○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	塩化物イオン	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	大腸菌群数	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特殊項目	窒素化合物	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	リン化合物	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	界面活性剤	●	●	●	●	●	●						●	●	●	●
	油分	●	●	●	●	●	●						●	●	●	●

(注)測定頻度 ◎ 月1回 ○ 年4回 ● 年1回

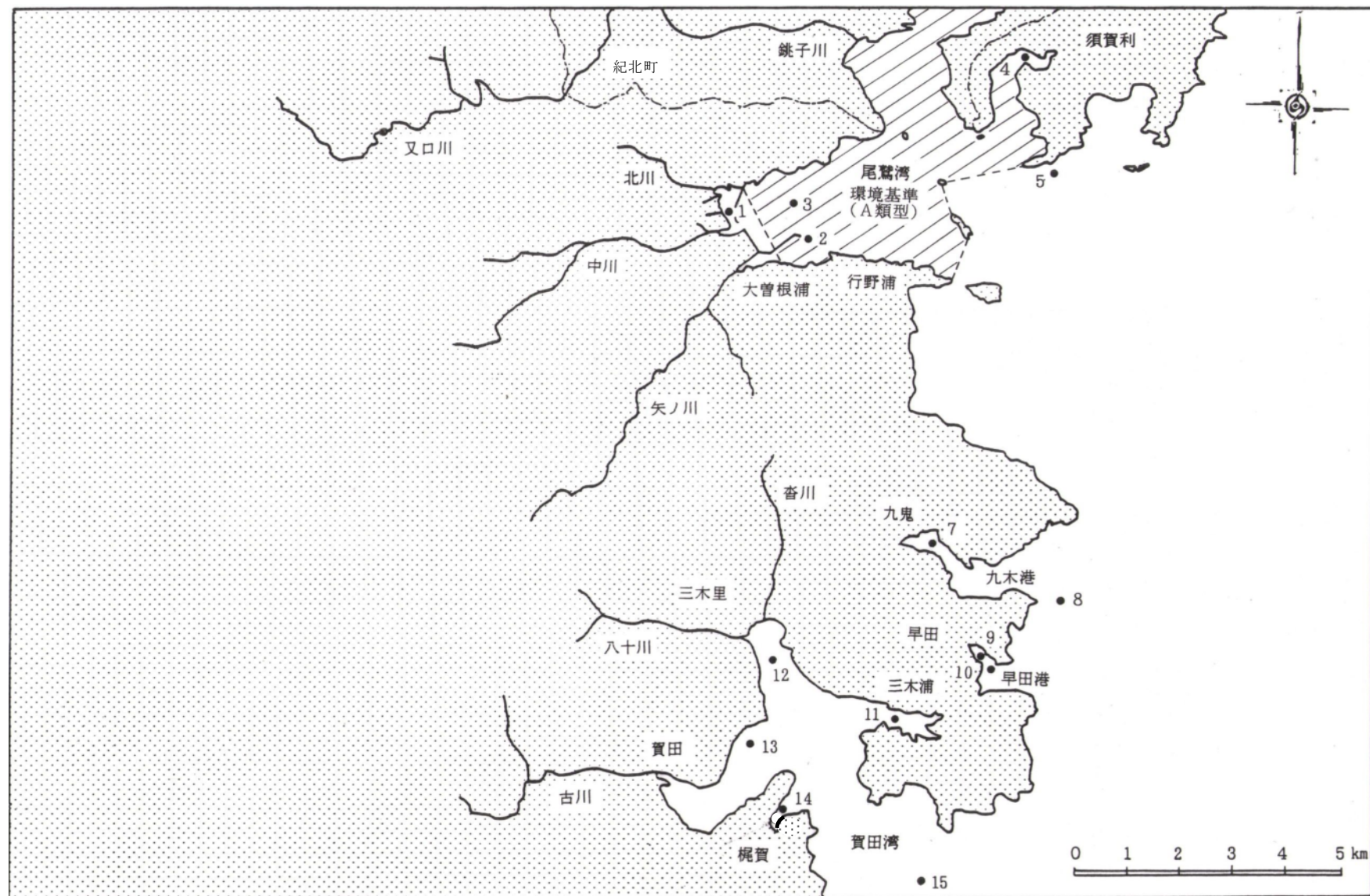


図. 水 1-1 公共用水域調査測点（海域）

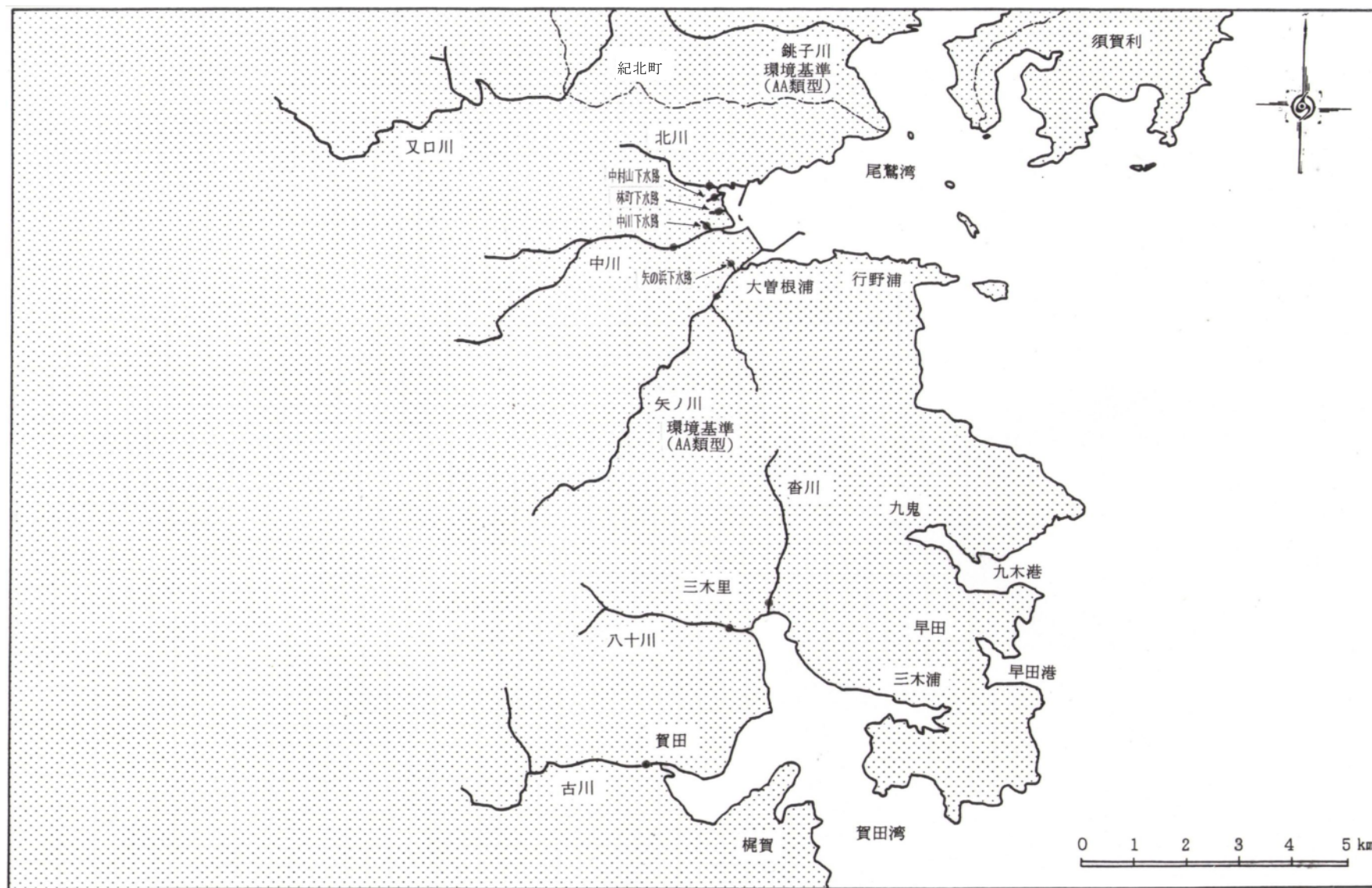


図. 水 1-2 公共用水域調査測点（河川・下水路）

表. 水1-1-6(1) 海域水質経年変化(尾鷲湾)

測点名	類型	年度	透明度	PH	DO	COD	COD75%	大腸菌群数	油分	TN	TP	界面活性剤
			m		mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
St.1-0		19	4.2	7.9	7.7	1.4	1.7	230	0.5	0.25	0.040	0.05
		20	5.7	8.0	6.3	1.4	1.6	640	0.5	0.30	0.030	0.01
		21	4.1	7.9	7.9	1.4	1.6	310	0.5	0.16	0.027	0.01
		22	4.0	8.0	8.1	1.3	1.4	198	0.5	0.26	0.025	0.01
		23	4.5	8.1	6.5	1.4	1.7	230	0.5	0.30	0.029	0.03
		24	4.3	8.1	7.7	1.8	1.8	151	0.5	0.28	0.029	0.02
		25	3.8	8.1	7.1	2.1	2.6	212	0.5	0.38	0.031	0.01
		26	4.3	7.8	7.8	1.4	1.8	340	0.5	0.43	0.028	0.01
		27	4.5	8.1	8.3	1.5	1.6	530	0.5	0.25	0.024	0.02
		28	4.3	8.1	7.2	1.8	2.0	390	0.5	0.29	0.030	0.03
St.2-0	A	19	5.8	8.2	7.8	1.4	1.7	48	0.5	0.13	0.014	0.03
		20	6.8	8.1	7.3	1.5	1.6	44	0.5	0.16	0.009	0.02
		21	6.6	8.1	7.1	1.2	1.6	54	0.5	0.16	0.014	0.01
		22	7.7	8.2	7.5	1.2	1.4	49	0.5	0.18	0.009	0.02
		23	7.6	8.2	6.6	1.3	1.5	49	0.5	0.21	0.011	0.03
		24	8.0	8.2	7.8	1.5	2.1	25	0.5	0.21	0.014	0.02
		25	7.5	8.1	7.5	1.7	1.7	100	0.5	0.23	0.012	0.02
		26	7.6	8.1	7.8	1.3	2.1	43	0.5	0.24	0.011	0.02
		27	6.3	8.1	7.4	1.3	1.3	69	0.5	0.17	0.009	0.04
		28	6.4	8.2	6.7	1.4	1.6	32	0.5	0.14	0.010	0.04

表. 水1-1-6(2) 海域水質経年変化(尾鷲湾)

測点名	類型	年度	透明度	PH	DO	COD	COD75%	大腸菌群数	油分	TN	TP	界面活性剤
			m		mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
St.3-0	A	19	6.4	8.2	8.1	1.3	1.6	42	0.5	0.19	0.015	0.03
		20	7.0	8.1	7.2	1.3	1.5	100	0.5	0.22	0.009	0.01
		21	8.2	8.1	6.9	1.2	1.5	55	0.5	0.16	0.012	0.01
		22	6.7	8.2	7.7	1.1	1.2	51	0.5	0.15	0.008	0.03
		23	7.4	8.2	6.9	1.2	1.4	49	0.5	0.21	0.011	0.02
		24	8.7	8.2	8.1	1.5	1.6	29	0.5	0.19	0.015	0.01
		25	9.8	8.2	7.7	1.6	1.8	54	0.5	0.18	0.011	0.01
		26	8.9	8.2	8.2	1.4	1.6	62	0.5	0.21	0.012	0.00
		27	6.4	8.2	8.5	1.5	1.8	91	0.5	0.16	0.012	0.04
		28	7.2	8.2	6.8	1.5	1.6	82	0.5	0.15	0.012	0.04
St.4-0	A	19	8.8	8.2	7.7	1.1	1.3	1	0.5	0.13	0.013	0.03
		20	11	8.1	6.7	1.0	1.2	8	0.5	0.17	0.007	0.02
		21	12	8.1	6.6	1.1	1.2	6	0.5	0.14	0.011	0.02
		22	9.8	8.2	7.4	1.0	1.4	6	0.5	0.14	0.009	0.02
		23	11	8.2	6.6	1.2	1.4	9	0.5	0.16	0.009	0.03
		24	9.9	8.2	7.8	1.2	1.4	10	0.5	0.17	0.014	0.04
		25	10	8.1	7.3	1.8	1.9	37	0.5	0.21	0.027	0.01
		26	9.6	8.1	7.7	1.3	1.4	13	0.5	0.22	0.014	0.01
		27	8.4	8.1	7.3	1.2	1.3	43	0.5	0.17	0.013	0.01
		28	8.8	8.2	6.5	1.5	1.9	20	0.5	0.16	0.016	0.05

表. 水1-1-6(3) 海域水質經年變化(尾鷲湾)

測点名	類型	年度	透明度	PH	DO	COD	COD75%	大腸菌群数	油分	TN	TP	界面活性剂
			m		mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
St.5-0		19	12	8.2	7.6	1.0	1.1	1	0.5	0.10	0.010	0.03
		20	14	8.1	7.2	1.0	1.2	0	0.5	0.13	0.007	
		21	14	8.1	6.7	1.2	1.2	0	0.5	0.12	0.006	
		22	20	8.2	7.4	1.1	1.3	2	0.5	0.13	0.006	
		23	13	8.2	6.7	1.2	1.5	3	0.5	0.14	0.007	
		24	14	8.2	8.2	1.4	1.4	1		0.13	0.009	
		25	14	8.2	7.4	1.6	2.1	3		0.13	0.008	
		26	13	8.2	8.0	1.3	1.4	5		0.19	0.009	
		27	11	8.2	8.0	1.1	1.4	10		0.11	0.006	
		28	11	8.2	6.8	1.3	1.6	4		0.11	0.007	

表. 水1-1-6(4) 海域水質経年変化(九木・早田港)

測点名	類型	年度	透明度	PH	DO	COD	大腸菌群数	油分	TN	TP	界面活性剤
			m		mg/l	mg/l	MPN/100ml	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
St.7-0		19	9.5	8.2	7.5	1.4	33	0.5	0.14	0.010	0.02
		20	9.5	8.1	6.6	1.3	29	0.5	0.15	0.005	0.04
		21	12	8.1	7.3	1.2	23	0.5	0.15	0.005	0.05
		22	10	8.2	6.8	1.1	95	0.5	0.13	0.012	0.01
		23	8.5	8.2	6.5	1.2	54	0.5	0.17	0.018	0.03
		24	12	8.1	7.5	1.1	6	0.5	0.14	0.008	0.02
		25	8.8	8.1	8.5	1.3	10	0.5	0.13	0.004	0.02
		26	10	8.2	7.4	1.1	130	0.5	0.19	0.007	0.01
		27	11	8.2	7.5	0.7	56	0.5	0.13	0.004	0.04
		28	9.8	8.2	6.7	1.4	21	0.5	0.10	0.002	0.02
St.8-0		19	17	8.2	7.2	1.4	6	0.5	0.08	0.020	0.02
		20	15	8.1	6.9	1.3	0	0.5	0.12	0.005	
		21	14	8.1	7.3	1.1	0	0.5	0.16	0.005	
		22	13	8.2	7.0	1.1	2	0.5	0.17	0.003	
		23	11	8.2	7.0	1.2	1		0.15	0.004	
		24	13	8.2	7.7	1.3	0		0.14	0.006	
		25	14	8.2	8.5	1.1	0		0.14	0.004	
		26	13	8.2	7.5	1.5	12		0.23	0.004	
		27	15	8.2	7.7	0.8	10		0.09	0.002	
		28	15	8.2	6.4	1.1	2		0.12	0.005	

表. 水1-1-6(5) 海域水質経年変化(九木・早田港)

測点名	類型	年度	透明度	PH	DO	COD	大腸菌群数	油分	TN	TP	界面活性剤
			m		mg/l	mg/l	MPN/100ml	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
St.9-0		19	8.5	8.1	7.5	1.5	100	0.5	0.19	0.016	0.03
		20	8.8	8.1	7.5	1.3	71	0.5	0.19	0.010	0.03
		21	8.3	8.1	8.2	1.3	68	0.5	0.17	0.012	0.03
		22	9.3	8.2	6.8	1.2	43	0.5	0.27	0.011	0.02
		23	9.5	8.2	6.2	1.3	13	0.5	0.20	0.017	0.03
		24	8.8	8.2	7.1	1.6	5	0.5	0.34	0.038	0.02
		25	8.8	8.2	8.9	1.2	10	0.5	0.19	0.007	0.01
		26	8.3	8.2	7.5	2.1	130	0.5	0.27	0.012	0.06
		27	8.5	8.2	7.7	0.8	94	0.5	0.10	0.007	0.02
		28	10	8.2	5.9	1.3	12	0.5	0.11	0.011	0.04
St.10-0		19	11	8.2	7.1	1.5	69	0.5	0.22	0.010	0.02
		20	12	8.1	6.8	1.2	9	0.5	0.17	0.007	0.02
		21	10	8.1	7.5	1.2	23	0.5	0.12	0.006	0.03
		22	11	8.2	6.4	1.3	6	0.5	0.15	0.008	0.03
		23	11	8.2	6.4	1.2	8	0.5	0.18	0.009	0.03
		24	12	8.2	7.5	1.6	5	0.5	0.22	0.024	0.03
		25	9.3	8.2	8.9	1.7	9	0.5	0.12	0.006	0.01
		26	11	8.2	7.5	1.5	100	0.5	0.20	0.011	0.01
		27	13	8.2	7.7	1.0	73	0.5	0.13	0.004	0.02
		28	13	8.2	5.8	1.3	23	0.5	0.15	0.008	0.03

表. 水1-1-6(6) 海域水質経年変化(賀田湾)

測点名	類型	年度	透明度	PH	DO	COD	大腸菌群数	油分	TN	TP	界面活性剤
			m		mg/l	mg/l	MPN/100ml	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
St.11-0		19	8.5	8.2	7.3	1.7	70	0.5	0.23	0.010	0.03
		20	13	8.1	7.7	1.3	39	0.5	0.13	0.009	0.01
		21	11	8.1	7.5	1.2	120	0.5	0.15	0.009	0.01
		22	12	8.1	8.2	0.7	66	0.5	0.19	0.011	0.01
		23	12	8.2	7.1	1.0	7	0.5	0.14	0.004	0.01
		24	12	8.1	7.8	1.4	6	0.5	0.20	0.012	0.04
		25	10	8.2	7.5	1.6	100	0.5	0.22	0.008	0.01
		26	12	8.1	7.8	0.9	150	0.5	0.22	0.011	0.03
		27	11	8.1	7.3	1.1	98	0.5	0.18	0.010	0.02
		28	9.5	8.2	6.5	0.9	160	0.5	0.14	0.009	0.03
St.12-0		19	9.3	8.2	7.0	1.0	1	0.5	0.12	0.006	0.02
		20	13	8.1	5.8	0.9	1	0.5	0.09	0.002	0.01
		21	10	8.1	6.9	1.1	9	0.5	0.13	0.002	0.03
		22	12	8.1	7.6	0.7	2	0.5	0.14	0.005	0.02
		23	12	8.2	6.9	1.3	2	0.5	0.14	0.003	0.01
		24	12	8.2	7.9	1.2	1	0.5	0.17	0.007	0.03
		25	9.3	8.2	7.0	1.2	5	0.5	0.25	0.005	0.01
		26	11	8.2	7.8	0.8	4	0.5	0.16	0.008	0.02
		27	11	8.1	8.3	0.7	6	0.5	0.12	0.003	0.05
		28	9.0	8.2	6.2	1.0	4	0.5	0.09	0.010	0.02

表. 水1-1-6(7) 海域水質経年変化(賀田湾)

測点名	類型	年度	透明度	PH	DO	COD	大腸菌群数	油分	TN	TP	界面活性剤
			m		mg/l	mg/l	MPN/100ml	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
St.13-0		19	9.3	8.2	6.6	1.4	3	0.5	0.15	0.007	0.03
		20	14	8.1	5.7	1.2	2	0.5	0.14	0.002	0.01
		21	12	8.1	7.4	1.4	6	0.5	0.22	0.002	0.03
		22	12	8.1	7.5	0.9	5	0.5	0.14	0.004	0.02
		23	14	8.2	6.8	1.0	3	0.5	0.13	0.005	0.01
		24	12	8.2	8.0	1.2	0	0.5	0.14	0.007	0.03
		25	8.0	8.3	8.0	1.2	8	0.5	0.22	0.006	0.00
		26	11	8.2	7.8	1.3	24	0.5	0.16	0.009	0.01
		27	9.8	8.1	7.5	0.8	9	0.5	0.09	0.005	0.01
		28	9.3	8.2	5.9	1.0	11	0.5	0.10	0.007	0.01
St.14-0		19	9.5	8.2	6.7	1.2	1	0.5	0.17	0.010	0.02
		20	16	8.1	5.8	1.5	3	0.5	0.12	0.003	0.02
		21	13	8.1	6.7	1.2	10	0.5	0.13	0.009	0.02
		22	13	8.1	7.7	0.8	3	0.5	0.16	0.005	0.02
		23	14	8.2	6.7	1.1	2	0.5	0.13	0.002	0.01
		24	12	8.2	8.7	1.4	1	0.5	0.16	0.005	0.02
		25	11	8.3	7.2	1.2	2	0.5	0.24	0.005	0.04
		26	14	8.2	8.0	1.4	4	0.5	0.14	0.006	0.01
		27	12	8.1	8.0	0.8	10	0.5	0.13	0.006	0.01
		28	11	8.2	6.2	1.0	5	0.5	0.12	0.004	0.02

表. 水1-1-6(8) 海域水質経年変化(賀田湾)

測点名	類型	年度	透明度	PH	DO	COD	大腸菌群数	油分	TN	TP	界面活性剤
			m		mg/l	mg/l	MPN/100ml	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
St.15-0		19	13	8.2	6.6	1.2	1	0.5	0.13	0.006	0.04
		20	18	8.1	6.8	1.0	1	0.5	0.23	0.003	0.01
		21	13	8.1	7.1	1.0	0	0.5	0.12	0.007	
		22	16	8.2	7.7	0.7	0		0.09	0.005	
		23	15	8.2	6.8	1.1	0		0.12	0.002	
		24	14	8.2	8.6	1.4	0		0.11	0.003	
		25	16	8.3	7.0	1.1	1		0.22	0.004	
		26	14	8.2	8.0	0.9	2		0.13	0.007	
		27	14	8.1	8.2	0.9	1		0.25	0.003	
		28	13	8.2	6.3	0.8	8		0.14	0.002	

表. 水1-2-2(1) 河川下水路水質経年変化

測点名	類型	年度	流 量	透視度	PH	DO	SS	BOD	大腸菌群数	油分	TN	TP	界面活性剤	BOD負荷量	T-N負荷量	T-P負荷量
			m3/日	cm		mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	kg/日	kg/日	kg/日
又 口 川		19	89,000	30	7.0	9.5	0.1	0.1	16	1	0.11	0.003	0.01	8.9	10	0.11
		20	69,000	30	7.1	9.1	0.2	0.1	7	0.5	0.12	0.001	0.01	12	2.9	0.08
		21	69,000	30	6.8	9.7	0.1	0.1	41		0.07	0.001		6.9	4.0	0.07
		22	180,000	30	6.9	9.8	0.3	0.2	97		0.24	0.008		34	21	0.34
		23	51,000	30	7.2	9.5	0.3	0.1	42		0.15	0.000		1.9	8.0	0.02
		24	250,000	30	7.2	9.2	0.2	0.3	50		0.13	0.004		14	29	0.55
		25	55,000	30	7.1	9.6	0.7	0.6	17		0.19	0.001		31	10	0.08
		26	218,500	30	7.0	9.7	0.3	0.3	31		0.11	0.001		30	23	0.19
		27	116,750	30	7.0	9.4	0.0	0.4	170		0.13	0.000		26	7.4	0.00
		28	63,000	30	6.9	9.4	1.6	0.3	79		0.12	0.003		14	7.3	0.20
北 川		19	31,000	18	6.5	5.4	30	64	82,000	13	3.1	0.62	2.5	1800	89	18
		20	47,000	30	6.5	7.0	7.0	9.0	88,000	0.5	2.8	0.50	0.05	200	79	7.0
		21	65,000	30	6.4	6.5	3.0	4.0	11,000	6.5	1.7	0.04	0.06	240	110	2.0
		22	33,500	30	6.5	7.1	2.9	5.1	7,900	0.5	1.4	0.03	0.02	190	47	0.70
		23	79,000	30	6.5	7.0	2.3	2.8	13,000	0.9	1.7	0.08	0.05	280	138	8.5
		24	31,000	30	6.7	8.1	1.6	3.4	3,300	0.9	1.7	0.06	0.09	95	53	1.8
		25	51,000	30	6.6	6.1	7.6	5.6	1,400	1.4	2.1	0.21	0.15	290	100	10
		26	41,000	30	6.5	7.9	1.3	0.8	2,000	0.5	1.3	0.00	0.00	31	55	0.00
		27	42,500	30	6.7	7.9	7.1	6.9	17,000	0.5	1.9	0.15	0.05	320	83	6.6
		28	45,000	30	6.5	7.4	1.2	5.0	6,000	0.5	1.6	0.07	0.05	260	77	3.2

表. 水1-2-2(2) 河川下水路水質経年変化

測点名	類型	年度	流 量	透視度	PH	DO	SS	BOD	大腸菌群数	油分	TN	TP	界面活性剤	BOD負荷量	T-N負荷量	T-P負荷量
			m3/日	cm		mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	kg/日	kg/日	kg/日
中 川		19	11,000	30	7.3	9.1	0.4	0.9	1,600	0.5	0.46	0.014	0.01	6.7	4.6	0.13
		20	35,000	30	7.0	9.3	1.0	1.0	2,000	0.5	0.35	0.010	0.01	36	7.9	0.23
		21	37,000	30	6.7	9.8	0.4	0.6	3,900	0.5	0.33	0.010	0.01	13	9.0	0.42
		22	85,000	30	6.9	10	0.4	0.7	4,300	0.5	0.30	0.006	0.03	37	21	0.43
		23	19,000	30	7.1	9.5	0.8	0.6	4,600	0.5	0.38	0.024	0.01	12	6.4	0.42
		24	45,000	30	7.2	8.7	5.3	0.8	1,900		0.30	0.015	0.04	26	13	0.67
		25	11,000	30	7.1	9.4	1.1	1.1	1,200		0.40	0.018	0.06	12	4.3	0.19
		26	54,000	30	6.9	9.6	0.4	1.2	950		0.31	0.012	0.00	71	16	0.46
		27	27,000	30	6.9	9.4	0.3	0.6	610		0.26	0.019	0.00	18	2.5	0.17
		28	19,000	30	7.0	9.5	1.5	1.2	420		0.33	0.011	0.00	22	5.7	0.22
矢 ノ 川	AA	19	52,000	30	7.1	9.2	0.4	0.4	50	0.5	0.24	0.003	0.01	10	11	0.10
		20	77,000	30	7.2	9.1	0.7	0.3	120	0.5	0.23	0.001	0.01	37	13	0.08
		21	72,000	30	6.9	9.9	0.3	0.2	98		0.12	0.001		19	9.0	0.07
		22	100,000	30	6.9	10.0	0.6	0.2	130		0.18	0.001		23	21	0.20
		23	35,000	30	7.1	9.4	0.6	0.3	170		0.19	0.000		16	6.0	0.00
		24	180,000	30	7.1	8.9	0.6	0.5	38		0.20	0.002		73	37	0.24
		25	80,000	30	7.0	9.2	0.4	0.5	35		0.17	0.000		27	17	0.03
		26	191,000	30	6.9	9.7	0.4	0.4	76		0.16	0.000		88	26	0.00
		27	124,000	30	7.0	9.5	0.1	0.3	320		0.11	0.000		24	6.4	0.00
		28	79,000	30	7.1	9.5	0.4	0.4	78		0.13	0.002		31	11	0.22

表. 水1-2-2(3) 河川下水路水質経年変化

測点名	類型	年度	流 量	透視度	PH	DO	SS	BOD	大腸菌群数	油分	TN	TP	界面活性剤	BOD負荷量	T-N負荷量	T-P負荷量
			m3/日	cm		mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	kg/日	kg/日	kg/日
沓川		19	19,000	30	6.8	9.2	0.5	0.3	64					3.0		
		20	21,000	30	6.9	9.5	0.4	0.1	120					2.1		
		21	9,900	30	6.9	9.3	0.1	0.2	120					1.9		
		22	25,000	30	7.1	9.2	0.3	0.1	82					0.6		
		23	12,000	30	7.1	9.3	0.3	0.1	230					0.4		
		24	20,000	30	7.2	8.9	0.8	0.1	26					1.1		
		25	22,000	30	6.9	8.9	0.2	0.6	110					13		
		26	27,000	30	6.9	9.4	0.3	0.2	110					6.2		
		27	50,000	30	7.1	9.3	0.1	0.4	76		0.11	0.000		24	6.0	0.02
		28	12,000	30	7.0	9.6	0.8	0.3	160		0.12	0.001		4.6	1.3	0.02
八十川		19	72,000	30	6.8	9.3	0.3	0.2	59					9.3		
		20	68,000	30	6.8	9.5	0.2	0.2	30					21		
		21	34,000	30	6.9	9.3	0.4	0.3	120					10		
		22	56,000	30	7.1	9.3	0.4	0.0	60					4.0		
		23	30,000	30	7.0	9.2	2.0	0.1	130					2.4		
		24	40,000	30	7.0	8.6	0.6	0.2	31					9.2		
		25	61,000	30	6.8	8.8	0.2	0.5	57					28		
		26	39,000	30	7.0	9.3	0.1	0.3	70					14		
		27	120,000	30	7.0	9.2	0.1	0.4	150		0.09	0.000		48	12	0.00
		28	88,000	30	7.0	9.2	0.3	0.2	230		0.10	0.000		3.8	6.4	0.00

表. 水1-2-2(4) 河川下水路水質経年変化

測点名	類型	年度	流 量	透視度	PH	DO	SS	BOD	大腸菌群数	油分	TN	TP	界面活性剤	BOD負荷量	T-N負荷量	T-P負荷量
			m3/日	cm		mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	kg/日	kg/日	kg/日
古 川		19	130,000	30	6.8	9.5	2.2	0.3	55					20		
		20	98,000	30	6.8	10	1.1	0.4	62					53		
		21	73,000	30	6.9	9.6	3.1	0.3	57					30		
		22	110,000	30	7.1	9	0.8	0.1	220					4.0		
		23	35,000	30	7.0	9.5	0.8	0.1	64					4.5		
		24	61,000	30	7.1	8.8	0.5	0.1	54					8.1		
		25	61,000	30	6.8	8.8	0.2	0.5	57					28		
		26	72,000	30	7.1	9.6	0.3	0.2	70					18		
		27	315,000	30	6.9	9.2	2.3	0.3	200		0.14	0.001		130	40	0.38
		28	120,000	30	7.2	9.6	0.8	0.2	460		0.17	0.000		51	14	0.10

表. 水1-2-2(5) 河川下水路水質経年変化

測点名	類型	年度	流 量	透視度	PH	DO	SS	BOD	大腸菌群数	油分	TN	TP	界面活性剤	BOD負荷量	T-N負荷量	T-P負荷量
			m3/日	cm		mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	kg/日	kg/日	kg/日
中村山下水路		19		30	6.8	5.4	4.7	15	3,600	0.5	2.4	0.24	0.15			
		20		30	7.1	4.0	2.9	5.4	140,000	0.5	1.4	0.13	0.26			
		21		30	7.1	5.0	5.9	6.4	7,000	0.9	3.4	0.30	0.10			
		22		30	7.3	6.7	1.9	7.4	5,400	0.5	4.7	0.40	0.01			
		23		30	7.0	4.5	3.7	11	15,000	0.5	3.8	0.40	0.10			
		24		30	7.0	4.0	3.6	6.4	4,300	1.0	4.2	0.40	0.04			
		25		30	7.0	1.6	11	17	13,000	0.0	13	2.0	0.02			
		26		30	6.9	3.5	5.8	17	11,000	0.6	7.5	0.87	0.04			
		27		27	7.3	3.7	7.6	19	94,000	0.3	4.4	0.54	0.01			
		28		30	7.0	4.8	3.2	13	6,300	0.4	5.4	0.99	0.01			
林町下水路		19	150	12	6.7	3.5	20	45	110,000	0.5	6.7	1.2	6.3	6.6	0.94	0.17
		20	340	21	6.7	3.1	16	36	1,100,000	0.5	8.6	1.2	4.3	12	2.8	0.39
		21	360	28	6.9	3.8	12	22	250,000	2.6	6.0	0.80	3.3	7.4	2.0	0.25
		22	360	27	6.8	3.2	15	33	140,000	0.5	7.1	1.1	0.31	17	2.7	0.39
		23	200	29	6.8	3.5	11	31	130,000	0.5	6.7	1.1	1.1	5.9	1.3	0.21
		24	170	30	6.8	3.7	9.6	47	84,000	0.9	6.1	1.0	0.87	8.1	1.0	0.18
		25	270	28	6.9	3.3	15	37	19,000	2.2	8.4	1.1	1.9	10	2.1	0.29
		26	530	30	6.7	3.9	6.7	29	22,000	3.2	4.9	0.70	0.58	20	3.2	0.54
		27	130	30	6.9	4.2	7.5	35	54,000	0.4	5.0	0.90	0.33	4.3	0.66	0.12
		28	250	30	6.8	4.6	6.5	18	48,000	1.7	4.8	1.2	0.23	4.8	1.3	0.22

中村山下水路におけるBOD欄の数値はCODである。

表. 水1-2-2(6) 河川下水路水質経年変化

測点名	類型	年度	流 量	透視度	PH	DO	SS	BOD	大腸菌群数	油分	TN	TP	界面活性剤	BOD負荷量	T-N負荷量	T-P負荷量
			m3/日	cm		mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	kg/日	kg/日	kg/日
中川下水路		19	880	23	6.9	3.1	14	53	87,000	0.5	4.4	0.19	2.2	47	4.1	0.17
		20	490	19	6.9	2.3	22	36	1,100,000	1.5	3.9	0.76	6.4	12	1.3	0.25
		21	460	25	7	1.6	19	52	350,000	15	6.8	0.93	7.2	23	3.0	0.41
		22	465	20	6.9	1.8	21	41	810,000	14	6.4	1.1	0.37	18	2.4	0.38
		23	270	27	7.2	2.8	16	57	210,000	1.5	7.1	1.2	2.7	15	2.0	0.34
		24	460	30	7.0	1.4	12	40	56,000	0.9	5.1	1.0	1.5	20	2.4	0.48
		25	360	30	7.1	1.6	10	52	19,000	6.6	6.3	1.1	1.2	18	2.3	0.38
		26	360	24	6.8	1.8	10	53	16,000	4.2	6.6	1.5	1.1	17	2.2	0.44
		27	280	30	7.0	1.9	8.9	37	460,000	6.2	7.8	1.9	0.89	11	2.3	0.55
		28	410	30	7.0	2.5	5.4	34	16,000	1.9	6.7	0.61	0.30	15	2.9	0.27
矢ノ浜下水路		19	42,000	30	6.7	7	1.9	4.8	6,900	0.5	1.0	0.059	0.16	220	44	2.5
		20	27,000	30	6.7	6.7	2.7	1.0	12,000	0.5	0.70	0.070	0.03	220	19	1.5
		21	33,000	30	6.7	7.2	2.3	2.3	7,000	0.5	0.80	0.033	0.08	52	27	1.1
		22	25,000	30	6.7	6.2	5.1	0.9	15,000	0.5	0.78	0.043	0.02	22	17	1.1
		23	23,000	30	6.7	6.8	5	1.4	2,900	0.5	0.73	0.038	0.07	32	18	0.90
		24	22,000	30	6.7	6.8	1.7	1.7	4,300	0.9	0.64	0.043	0.03	39	14	0.90
		25	20,000	30	6.7	6.6	3.9	2.1	440	0.1	0.70	0.055	0.11	41	14	1.1
		26	31,000	30	6.5	6.9	1.2	1.3	1,700	0.0	0.80	0.042	0.00	40	23	0.60
		27	35,000	30	6.8	7.5	0.8	1.4	28,000	0.9	0.54	0.027	0.04	48	19	0.90
		28	32,000	30	6.7	7.5	1.6	1.4	6,800	0.5	0.76	0.039	0.00	60	29	1.3

表. 水1-3 海域底質調査結果(平成28年度)

項目:乾燥減量および強熱減量 平成28年9月7日

	空重量	湿泥試料量 g	容器+湿泥	容器+乾泥	乾燥試料量 g	容器+強熱	強熱試料量 g	換算係数	乾燥減量 %	強熱減量 %
St.1	21.8076	9.9652	31.7728	29.2211	7.4135	28.8980	7.0904	0.7439	25.6061	4.3583
St.2	23.9659	9.9079	33.8738	30.8384	6.8725	30.3304	6.3645	0.6936	30.6362	7.3918
St.3	23.9234	10.0013	33.9247	30.8280	6.9046	30.3524	6.4290	0.6904	30.9630	6.8882
St.4	23.3429	9.9429	33.2858	30.7902	7.4473	30.2650	6.9221	0.7490	25.0993	7.0522

項目:粒度分布

	湿泥試料量	32メッシュ g	150メッシュ g	粗砂・礫 %	砂 %	泥 %
St.1	50.00	1.96	10.96	5.27	29.46	65.27
St.2	50.00	0.93	3.13	2.68	9.02	88.29
St.3	50.00	0.50	3.27	1.45	9.47	89.08
St.4	50.00	2.67	10.80	7.13	28.84	64.03

項目:硫化物

	湿泥試料量	検知管値	硫化物 mg/g
St.1	0.50	0.1	0.269
St.2	0.50	0.06	0.173
St.3	0.49	0.09	0.266
St.4	0.51	0.03	0.079

項目:pH

	pH
St.1	7.55
St.2	7.50
St.3	7.46
St.4	7.56

項目:COD

	湿泥試料量	滴定量	空滴定量	ファクター	CODmgO/g
St.1	9.95	3.40	28.60	1	13.6
St.2	9.96	4.70	28.60	1	13.8
St.3	9.96	0.70	28.60	1	16.2
St.4	9.94	6.40	28.60	1	11.9

第 3 章 騒 音 ・ 振 動 編

第3章 騒音・振動調査

1 はじめに

調査は、当市における騒音および振動の環境基準適合状況を把握し、環境保全対策上の基礎資料とするため実施した。

1.1 環境騒音（一般地域）・交通振動

(1) 調査月日

平成28年11月11日～12日

(2) 調査地点

調査は、図. 騒1に示す環境騒音2地点、図. 辰1に示す道路交通振動1地点で実施した。

(3) 調査項目、測定方法

◆騒音	普通騒音計(NL62)	JIS Z 8731
◆振動	振動レベル計	JIS Z 8735

1.2 自動車騒音常時監視

(1) 調査月日

平成26年11月13日～14日(5年に1回)

(2) 調査地点

調査は、図. 騒2に示す2地点で実施した。

2 調査結果

本編では、測定結果を抜粋し掲載した。

環境騒音調査および交通振動調査結果を表. 騒1-2-1～表. 騒1-2-3に示した。

3 ファイル名一覧

測定結果は、騒音振動データ集に保存。なお、ファイル名については以下に示した。

ファイル名	表 題
騒音・振動データ	表. 騒 1-1 環境騒音・交通振動基準値および達成状況
	表. 騒 1-2-1 環境騒音調査結果（一般地域）宮之上小学校下
	表. 騒 1-2-2 環境騒音調査結果（一般地域）レストラン藤横
	表. 騒 1-2-3 交通振動調査結果
	表. 騒 1-3-1 自動車交通騒音測定結果
	表. 騒 1-3-2 環境基準適合率（面的評価）

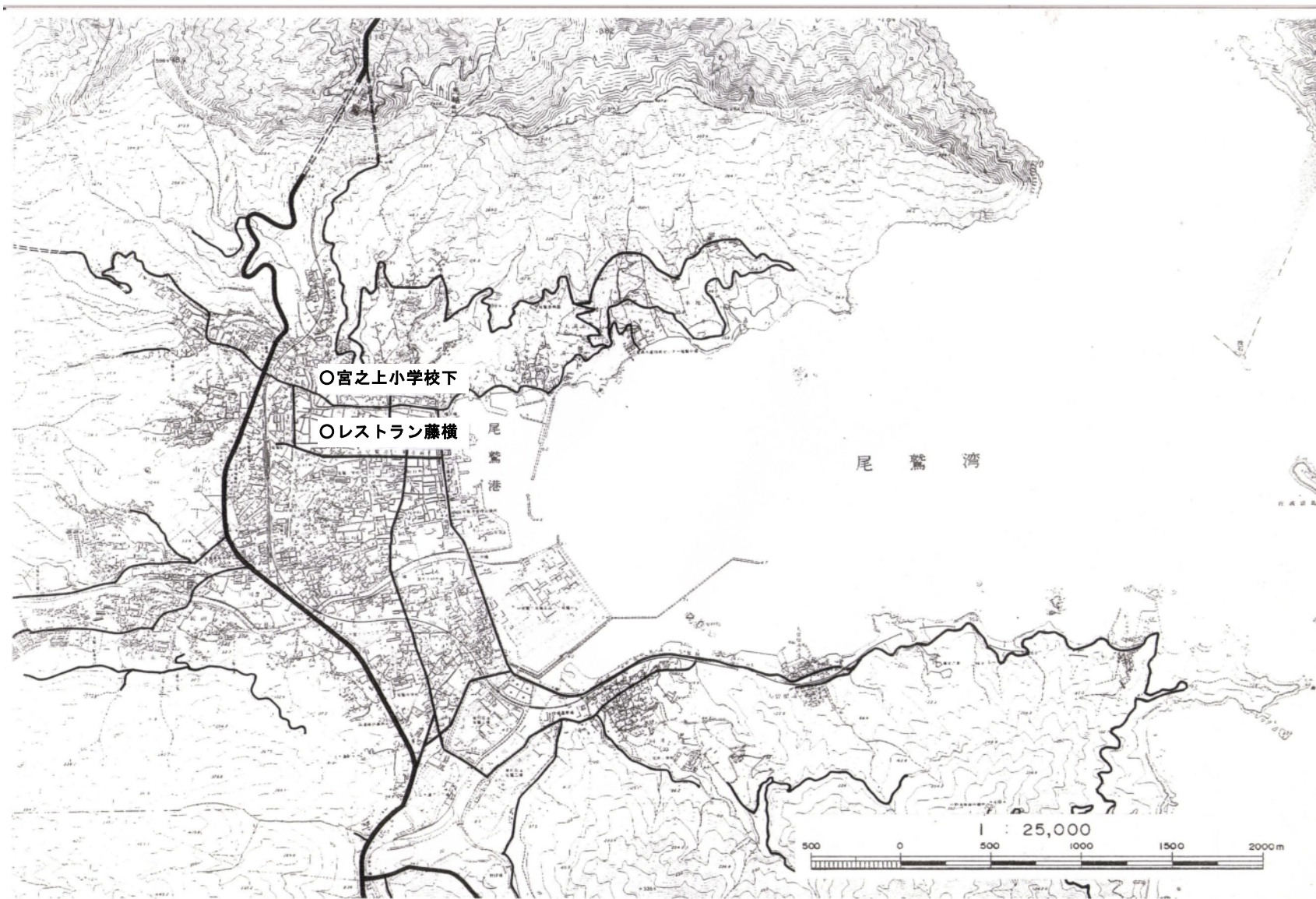
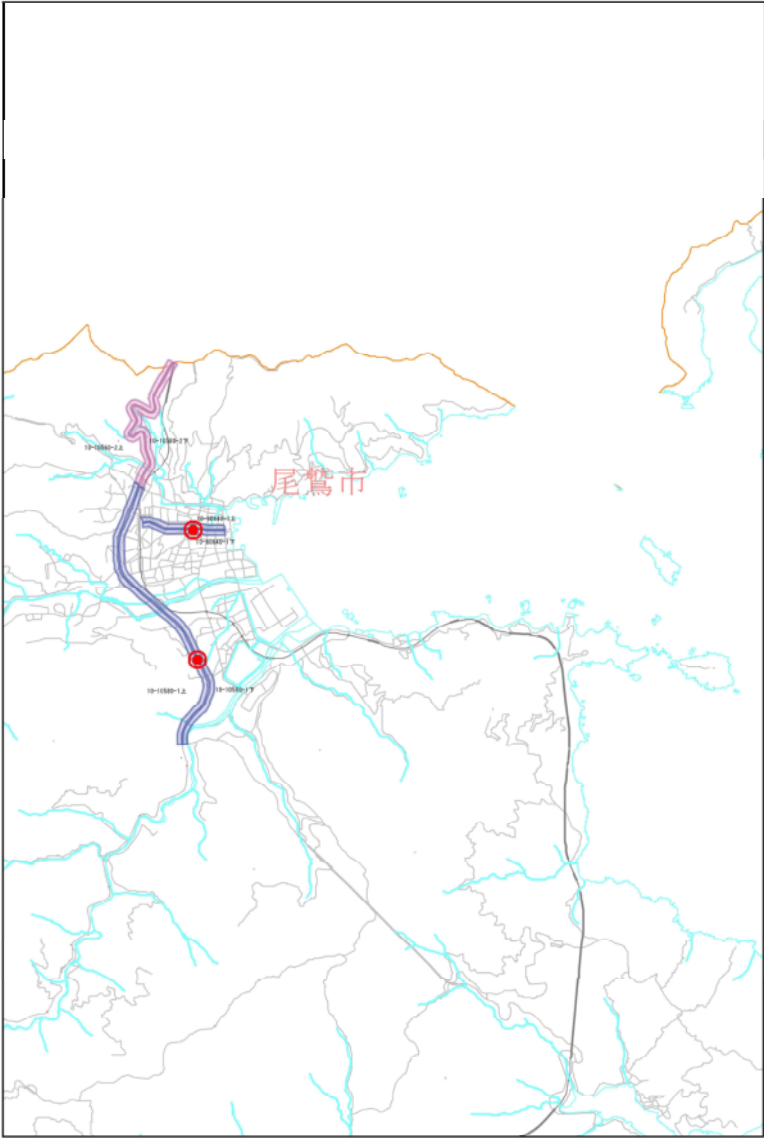


図. 騒 1 環境騒音調査地点

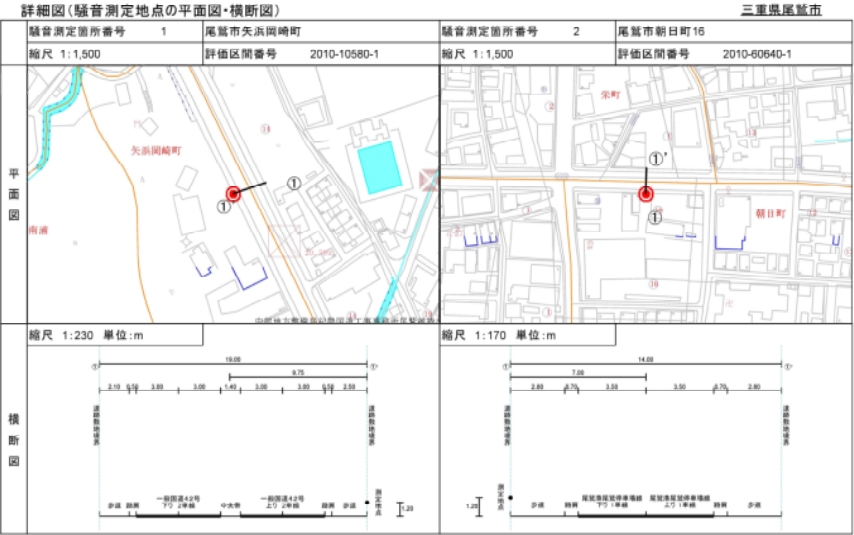


図. 振 1 道路交通振動調査地点

位置図（騒音測定地点、評価区間）
縮尺率 1:50,000



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（空間データ基盤）を使用したものである。
（承認番号 平 1 6 総使、第 2 2 2 号）



図．騒 2 自動車騒音常時監視

表.騒1-1 環境騒音・交通振動基準値および達成状況

環境騒音

環境基準類型	測 定 地 点	等価騒音レベル(dB)		時間率騒音レベル(dB)		環境基準	
		Laeq		LA50		昼 間	夜 間
		昼	夜	昼	夜	(dB)	(dB)
A	宮之上小学校下	× 58	○ 42	40	33	55以下	45以下
C	レストラン藤横	○ 53	○ 49	40	32	60以下	50以下

※ 昼間6:00～22:00 夜間22:00～6:00

交通振動

区域の区分	環境基準類型	車線数	測 定 地 点	振動レベル(dB)		道路交通振動の限度(dB)	
				昼	夜	昼 間	夜 間
第2種区域	C	4	三重日産(株)前	○ 37	○ 30	70	65

※ 昼間8:00～19:00 夜間19:00～8:00

表. 騒 1-2-1 環境騒音調査結果（一般地域）

測定地点：宮之上小学校下

区分	観測時間	時間帯 区分	有効実測 時間(秒間)	等価騒音レベ ル L_{aeq}	時間率騒音レベル					騒音レベル最大値 L_{Amax}
					L_{A50}	L_{A5}	L_{A10}	L_{A90}	L_{A95}	
1	00～01	4	600	37.0	34.2	41.2	37.7	32.0	31.6	55.8
2	01～02	4	600	41.3	32.0	41.0	37.9	30.7	30.5	65.7
3	02～03	4	600	32.5	31.6	34.8	33.4	30.6	30.3	52.3
4	03～04	4	600	45.8	33.2	36.4	35.3	32.2	31.9	72.8
5	04～05	4	600	33.4	32.8	35.8	34.8	32.0	31.8	44.0
6	05～06	4	600	37.4	34.7	43.2	40.7	33.0	32.7	49.8
7	06～07	2	600	51.7	35.2	50.0	41.2	33.4	32.9	74.9
8	07～08	2	600	48.0	40.4	53.1	50.3	37.1	36.5	67.6
9	08～09	2	600	60.5	45.1	67.1	62.7	38.0	37.1	80.3
10	09～10	2	600	60.7	47.4	67.0	62.2	38.9	37.7	82.2
11	10～11	2	600	57.5	40.8	65.1	60.9	36.7	36.0	74.3
12	11～12	2	600	57.5	42.2	64.9	60.1	37.7	37.0	78.8
13	12～13	2	600	57.7	42.5	64.0	60.2	36.2	35.4	76.0
14	13～14	2	600	57.0	40.5	62.5	57.6	35.2	34.6	76.8
15	14～15	2	600	58.3	39.9	65.9	60.1	34.5	33.8	77.1
16	15～16	2	600	58.5	43.6	65.8	61.5	35.7	34.9	77.0
17	16～17	2	600	58.3	42.7	65.6	61.4	35.2	34.6	78.7
18	17～18	2	600	60.0	45.1	66.3	62.6	37.0	35.9	81.9
19	18～19	2	600	56.1	38.0	63.5	58.3	34.3	33.6	73.7
20	19～20	2	600	53.4	35.7	55.3	46.9	34.0	33.8	76.2
21	20～21	2	600	58.9	35.9	62.8	54.2	34.2	33.9	82.3
22	21～22	2	600	51.7	32.3	53.5	44.2	30.8	30.5	72.9
23	22～23	4	600	46.5	32.5	43.0	36.6	31.4	31.1	71.2
24	23～00	4	600	34.1	32.9	36.5	36.0	31.5	31.2	50.2
昼	6～22	2								
夜	22～6	4								

表. 騒 1-2-2 環境騒音調査結果（一般地域）

測定地点：レストラン藤横

区分	観測時間	時間帯 区分	有効実測 時間(秒間)	等価騒音レベ ル L_{aeq}	時間率騒音レベル					騒音レベル最大値 L_{Amax}
					L_{A50}	L_{A5}	L_{A10}	L_{A90}	L_{A95}	
1	00～01	4	600	47.9	30.6	49.3	40.4	29.6	29.4	70.2
2	01～02	4	600	51.9	30.6	45.4	40.8	29.3	29.1	77.4
3	02～03	4	600	32.7	30.0	32.3	31.4	29.3	29.2	59.0
4	03～04	4	600	47.7	31.1	41.9	35.5	30.1	29.9	74.4
5	04～05	4	600	37.3	30.8	35.8	32.7	29.9	29.7	68.9
6	05～06	4	600	47.7	36.6	53.5	47.4	33.9	33.4	67.4
7	06～07	2	600	44.9	35.1	44.7	40.6	33.6	33.4	68.9
8	07～08	2	600	50.5	39.2	56.2	51.9	36.1	35.3	70.2
9	08～09	2	600	54.6	39.1	60.8	56.6	34.4	33.8	74.3
10	09～10	2	600	50.3	39.3	56.6	52.9	34.7	33.7	69.5
11	10～11	2	600	52.7	40.1	59.8	56.6	35.9	35.4	72.6
12	11～12	2	600	57.0	42.3	63.8	59.0	37.5	36.5	76.2
13	12～13	2	600	54.7	39.3	61.7	54.3	37.0	36.7	74.8
14	13～14	2	600	52.7	40.4	57.3	52.6	36.5	36.1	78.2
15	14～15	2	600	54.6	38.3	59.6	55.0	34.3	33.8	77.9
16	15～16	2	600	53.4	38.2	58.5	53.8	34.6	34.0	77.6
17	16～17	2	600	57.2	47.5	64.0	60.6	37.3	36.0	73.2
18	17～18	2	600	55.5	46.6	60.9	57.4	40.8	38.1	77.4
19	18～19	2	600	53.7	42.2	59.8	55.5	36.9	36.4	78.8
20	19～20	2	600	48.5	36.0	51.8	47.0	32.9	32.4	71.6
21	20～21	2	600	50.5	36.8	57.3	51.4	31.8	31.2	71.0
22	21～22	2	600	47.3	33.9	50.1	44.0	32.0	31.7	67.8
23	22～23	4	600	53.4	33.4	55.8	46.0	31.4	31.0	78.5
24	23～00	4	600	43.6	31.1	40.2	35.8	29.9	29.6	68.4
昼	6～22	2								
夜	22～6	4								

表. 騒 1-2-3 交通振動調査結果

測定地点：三重日産(株)前

区分	開始時間	時間帯 区分	有効実測 時間(秒間)	振動レベル(dB)
1	01:35	4	600	30未満
2	04:12	4	600	30未満
3	08:05	2	600	30未満
4	10:24	2	600	40
5	13:21	2	600	38
6	16:35	2	600	41
7	19:07	4	600	30未満
8	22:10	4	600	30未満
昼	8～19	2		
夜	19～8	4		

表. 騒1-3-1 自動車交通騒音測定結果

騒音測定地点番号	市町	道路名	用途地域	測定地点	車線数	環境基準 類型		等価騒音 レベル LAeq	環境基準		要請限度	
									基準値	適合状況	基準値	適合状況
								(dB)	(dB)		(dB)	
1	尾鷲市	一般国道42号	その他	尾鷲市矢浜岡崎町	4	C	昼間	69	70	○	75	○
							夜間	61	65	○	70	○
2	尾鷲市	尾鷲港尾鷲停車場線	その他	尾鷲市朝日町16	2	C	昼間	61	65	○	65	○
							夜間	50	60	○	55	○

表. 騒1-3-2 環境基準適合率(面的評価)

実施区分	測定地点番号	路線名	評価区間の 始点の住所	評価区間の 終点の住所	評価区間の 延長 (km)	評価 対象 住居 等戸 数 a (=b+c +d+e) (戸)	昼間・ 夜間 とも基 準値以 下 b (戸)	昼間 のみ 基準 値以 下 c (戸)	夜間 のみ 基準 値以 下 d (戸)	昼間・ 夜間 とも基 準値超 過 e (戸)	環境 基準 適合 率 b/a × 100 (%)
尾鷲市	1	一般国道42号	尾鷲市坂場西町2	尾鷲市大字南浦	3.6	244	242	0	2	0	99.2
	2	一般国道42号	尾鷲市大字南浦	尾鷲市坂場西町2	2.2	42	42	0	0	0	100.0
	3	尾鷲港尾鷲停車場線	尾鷲市港町1	尾鷲市中村町7	0.8	222	222	0	0	0	100.0
実施分 小計					6.6	508	506	0	2	0	99.6

資料編

表．大資 1 環境基準（昭和 48 年 5 月 8 日環境庁告示第 25 号、53 年 7 月 11 日環境庁告示第 38 号）

物質	二酸化硫黄	一酸化炭素	浮遊粒子状物質	二酸化窒素	光化学オキシダント
環 境 上 条 件	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。	1 時間値の 1 日平均値が 10ppm 以下であり、かつ 1 時間値の 8 時間平均値が 20ppm 以下であること。	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、かつ 1 時間が 0.20mg/m ³ 以下であること。	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内またはそれ以下であること。	1 時間値が、0.06ppm 以下であること。
測 定 方 法	溶液導電率法	非分散型赤外分析計を用いる方法	濾過捕集による重量濃度測定方法またはこの方法によって測定された重量濃度と直線的な関係を有する量がえられる光散乱法、圧電天びん法若しくはベータ線吸収法	ザルツマン試薬を用いる吸光光度法	中性ヨウ化カリウム溶液を用いる吸光光度法または電量法
備考 1. 浮遊粒子状物質とは、大気中に浮遊する粒子状物質であって、その粒径が 10ミクロン以下のものをいう。 2. 光化学オキシダントとは、オゾン、H°-キシメチルナイトレートその他の光化学反応により生成される酸化性物質（中性ヨウ化カリウム溶液からヨウ素を遊離するものに限り、二酸化窒素を除く。）をいう。 ※この環境基準は、工業専用地域、車道その他の一般公衆が通常生活していない地域または場所については、適用しない。					

表．大資 2 環境保全目標（三重県）

物質	二酸化硫黄	二酸化窒素
環 境 目 保 標 全	年平均値が、0.017ppm 以下であること。	年平均値が、0.02ppm 以下であること。

表．大資 3（1） 三重県大気汚染緊急時対策実施要綱

緊急時の措置					
発令区分 物質名	予 報	注 意 報			警 報
		第 1 種	第 2 種	第 3 種	
硫黄酸化物	硫黄酸化物の排出量の削減の体制をとること	硫黄酸化物の排出量を通常時の20%削減すること	硫黄酸化物の排出量を通常時の40%削減すること	硫黄酸化物の排出量を通常時の60%削減すること	硫黄酸化物の排出量を通常時の80%削減すること
浮遊粒子状物質	燃料使用量の削減等の体制をとること	燃料使用量を通常使用量の20%削減すること又はこれと同等以上の措置を講ずること			燃料使用量を通常使用量の40%削減すること、又はこれと同等以上の措置を講ずること
二酸化窒素	燃料使用量の削減等の体制をとること	燃料使用量を通常使用量の20%削減すること又はこれと同等以上の措置を講ずること			燃料使用量を通常使用量の40%削減すること、又はこれと同等以上の措置を講ずること

表．大資 3 (2) 三重県大気汚染緊急時対策実施要綱

発令基準		注 意 報			警 報
発令区分 物質名	予 報	第 1 種	第 2 種	第 3 種	
硫黄酸化物	大気中における含有率の 1 時間値（浮遊粒子状物質の項を除き以下「1 時間値」という。）0.15ppm 以上で注意報の第 1 種の基準に達するおそれのある場合	1 時間値 0.2ppm 以上である大気の汚染状態になった場合	(1) 1 時間値 0.2ppm 以上である大気の汚染の状態が 3 時間継続した場合 (2) 1 時間値 0.3ppm 以上である大気の汚染の状態が 2 時間継続した場合 (3) 1 時間値 0.5ppm 以上である大気の汚染状態になった場合 (4) 1 時間値の 48 時間平均値が 0.15ppm 以上である大気の汚染の状態になった場合	1 時間値 0.5ppm 以上である大気の汚染状態が 2 時間継続した場合	(1) 1 時間値 0.5ppm 以上である大気の汚染状態が 3 時間継続した場合 (2) 1 時間値 0.7ppm 以上である大気の汚染状態が 2 時間継続した場合
浮遊粒子状物質	大気中における量の 1 時間値が $2.0\text{mg}/\text{m}^3$ 以上である大気の汚染の状態に達し 2 時間継続するおそれのある場合	大気中における量の 1 時間値が $2.0\text{mg}/\text{m}^3$ 以上である大気の汚染の状態が 2 時間継続した場合			大気中における量の 1 時間値が $3.0\text{mg}/\text{m}^3$ 以上である大気の汚染の状態が 3 時間継続した場合
二酸化窒素	1 時間値が 0.4ppm 以上で 0.5ppm の大気の汚染の状態になるおそれのある場合	1 時間値 0.5ppm 以上である大気の汚染の状態になった場合			1 時間値 1 ppm 以上である大気の汚染状態になった場合

表．大資 3 (3) 三重県大気汚染緊急時対策実施要綱（光化学オキシダントの部）

発令区分	発 令 基 準	発生源に対する措置
予 報	測定局におけるオキシダント濃度の1時間値が0.08ppm以上で、かつ気象条件からみてその濃度が継続し0.12ppm以上に達するおそれのある場合	燃料使用量の削減等の措置が行える体制をとることを要請する
注意報	測定局におけるオキシダント濃度の1時間値が0.12ppm以上で、かつ気象条件からみてその濃度が継続すると認められる場合	燃料使用量を通常使用量の20%削減すること、又はこれと同等以上の措置を講ずることを要請する
警 報	測定局におけるオキシダント濃度の1時間値が0.24ppm以上で、かつ気象条件からみてその濃度が継続すると認められる場合	燃料使用量を通常使用量の30%削減すること、又はこれと同等以上の措置を講ずることを要請する
重大警報	測定局におけるオキシダント濃度の1時間値が0.4ppm以上で、かつ気象条件からみてその濃度が継続すると認められる場合	大気汚染防止法第23条第4項に基づく措置をとるべきことを命ずる、又は道路交通法の規定による措置をとるべきことを要請する

表．大資４ 尾鷲市大気汚染監視要綱

緊急時の事態

措置区分 物質名	予 備 警 報	警 報
硫黄酸化物	測定局において１時間値0.05ppm以上の状態になったとき	測定局において１時間値0.08ppm以上の状態になったとき
二酸化窒素	測定局において１時間値0.15ppm以上の状態になったとき	測定局において１時間値0.25ppm以上の状態になったとき

緊急時の措置

措置区分 物質名	予 備 警 報	警 報
硫黄酸化物	硫黄酸化物の排出量の削減体制をとること	硫黄酸化物の排出量を通常時の20%削減すること
二酸化窒素	燃料使用量の削減等の体制をとること	燃料使用量を通常時の20%削減又はこれと同等の措置を講ずること

表. 水資 1 天候、色相、性状、臭気コード

天候コード		色相コード		性状コード		臭気コード	
コード	天候	コード	色相	コード	性状	コード	臭気
01	快晴	01	無色	01	異常なし	01	無臭
02	晴	02	乳白色	02	油膜	02	芳香性臭
03	薄曇	03	灰色	03	浮遊物質	03	植物性臭
04	曇	04	暗灰色	04	発泡状態	04	土・カビ臭
05	小雨	05	黒灰色	05	ゴミ質	05	魚貝臭
06	雨	06	淡黄色	06	油膜 浮遊物質	06	薬品臭
07	大雨	07	黄色	07	油膜 ゴミ質	07	油臭
08	みぞれ	08	淡褐色	08	浮遊物質 ゴミ質	08	硫化水素臭
09	雪	09	褐色	09	油膜 浮遊物質 ゴミ質	09	金属臭
		10	灰褐色	10	R T	10	下水臭
30	その他	11	黄褐色	30	その他	11	し尿・糞尿臭
		12	茶褐色			12	パルプ臭
		13	赤褐色				
		14	緑褐色			30	その他不快臭
		15	黒褐色				
		16	黄緑色				
		17	緑色				
		18	緑灰色				
		19	青色				
		20	黒色				
		30	その他				

表． 水 資 2 人 の 健 康 の 保 護 に 関 す る 環 境 基 準 （ 健 康 項 目 ）

項 目 名	基 準 値	項 目 名	基 準 値
カドミウム	0.01mg/ℓ 以下	シス－1，2－ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ 以下
全シアン	検出されないこと	1，1，1－トリクロロエタン	1mg/ℓ 以下
鉛	0.01mg/ℓ 以下	1，1，2－トリクロロエタン	0.006mg/ℓ 以下
クロム（六価）	0.05mg/ℓ 以下	トリクロロエチレン	0.03mg/ℓ 以下
ヒ素	0.01mg/ℓ 以下	テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ 以下
総水銀	0.0005mg/ℓ 以下	1，3－ジクロロプロペン	0.002mg/ℓ 以下
アルキル水銀	検出されないこと	チウラム	0.006mg/ℓ 以下
P C B	検出されないこと	シマジン	0.003mg/ℓ 以下
ジクロロメタン	0.02mg/ℓ 以下	チオベンカルブ	0.02mg/ℓ 以下
四塩化炭素	0.002mg/ℓ 以下	ベンゼン	0.01mg/ℓ 以下
1，2－ジクロロエタン	0.004mg/ℓ 以下	セレン	0.01mg/ℓ 以下
1，1－ジクロロエチレン	0.02mg/ℓ 以下		

表．水資３ 生活環境に係る環境基準（海域）

項目 類型	利用目的の 適 応 性	基 準 値				
		水素イオン 濃度 (P H)	化学的酸素 要 求 量 (C O D)	溶存酸素量 (D O)	大腸菌群数	n－ヘキサン 抽 出 物 質 (油 分 等)
A	水産１級 水自然環境保全 及びＢ以下の 欄に掲げるもの	7.8以上 8.3以下	2 mg/ℓ 以下	7.5 mg/ℓ 以上	1,000MPN/ 100mℓ 以下	検出されないこと。
B	水産２級 工業用水 及びＣの欄に掲げるもの	7.8以上 8.3以下	3 mg/ℓ 以下	5 mg/ℓ 以上	－	検出されないこと。
C	環境保全	7.0以上 8.3以下	8 mg/ℓ 以下	2 mg/ℓ 以上	－	－

- 注） 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
2 水産１級：マダイ、ブリ、ワカメ等の水産生物用及び水産２級の水産生物用
水産２級：ボラ、ノリ等の水産生物用
3 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

表．水資４ 生活環境に係る環境基準（河川）

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (P H)	生物化学的酸素 要求量 (BOD)	浮遊物質 量 (S S)	溶存酸素量 (D O)	大腸菌群数
A A	水道 1 級 自然環境保全 および A 以下の 欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	1 mg/ℓ 以下	25 mg/ℓ 以下	7.5 mg/ℓ 以上	50 MPN/ 100ml 以下
A	水道 2 級 水産 1 級 浴 および B 以下の 欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	2 mg/ℓ 以下	25 mg/ℓ 以下	7.5 mg/ℓ 以上	1000 MPN/ 100ml 以下
B	水道 3 級 水産 2 級 および C 以下の 欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	3 mg/ℓ 以下	25 mg/ℓ 以下	5 mg/ℓ 以上	5000 MPN/ 100ml 以下
C	水産 3 級 工業用水 1 級 および D 以下の 欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	5 mg/ℓ 以下	50 mg/ℓ 以下	5 mg/ℓ 以上	—
D	工業用水 2 級 農業用水 および E 以下の 欄に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	8 mg/ℓ 以下	100 mg/ℓ 以下	2 mg/ℓ 以上	—
E	工業用水 3 級 環境保全	6.5 以上 8.5 以下	10 mg/ℓ 以下	ごみ等の浮遊が認 められないこと	2 mg/ℓ 以上	—

注) (1) 基準値は日間平均値とする。(以下同じ)

- (2) 利用目的の適応性は次による。
1. 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
 2. 水道 1 級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 2. 水道 2 級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 2. 水道 3 級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
 3. 水産 1 級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産 2 級及び水産 3 級の水産生物用
 3. 水産 2 級：サケ科、魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産 3 級の水産生物用
 3. 水産 3 級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用
 4. 工業用水 1 級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 4. 工業用水 2 級：薬品注入等に等高度の浄水操作を行うもの
 4. 工業用水 3 級：特殊の浄水操作を行うもの
 5. 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度
- (3) 農業利用水点については、P H 6.0 以上、7.5 以下、D O は 5 mg/ℓ 以上とする。

表．水資５ 水産用水基準（水質関係抜粋）

項 目		海 域	河 川
透 明 度		年 間 平 均 ５ ｍ 以 上 、 最 低 値 ２ ． ５ ｍ	
p H		７ ． ８ ～ ８ ． ４	６ ． ７ ～ ７ ． ５
S	S	２ ｍ ｇ / ｌ 以 下	２ ５ ｍ ｇ / ｌ 以 下
D	O	６ ｍ ｇ / ｌ 以 上	６ ｍ ｇ / ｌ 以 上 (サケ、マス、アユを対象とする場合 ７ ｍ ｇ / ｌ 以 上)
C O D (ア ル カ リ 法)		１ ｍ ｇ / ｌ 以 下 (ノリ養殖場 ２ ｍ ｇ / ｌ 以 下)	
B O D			自然繁殖の条件として ３ ｍ ｇ / ｌ 以 上 (サケ、マス、アユを対象とする場合 ２ ｍ ｇ / ｌ 以 下) 生育の条件として ５ ｍ ｇ / ｌ (サケ、マス、アユを対象とする場合 ３ ｍ ｇ / ｌ 以 下)
大 腸 菌 群 数		１ ０ ０ ０ MPN/100m ℓ 以下 (生食用のカキを飼育するためには ７ ０ MPN/100m ℓ 以下)	１ ０ ０ ０ MPN/100m ℓ 以下
鉍 油 類		水中には鉍油類が含まれないこと。 水面には油膜が認められないこと。	水中には鉍油類が含まれないこと。 水面には油膜が認められないこと。
無 機 窒 素		０ ． １ ｍ ｇ / ｌ 以 下 注)	
無 機 磷		０ ． ０ １ ５ ｍ ｇ / ｌ 以 下 注)	
全 磷			０ ． １ ｍ ｇ / ｌ 以 下
有 害 物 質	陰イオン界面活性剤	０ ． １ ｍ ｇ / ｌ 以 下	０ ． ５ ｍ ｇ / ｌ 以 下
	全アンモニア (N)	１ ｍ ｇ / ｌ (p H ８)	１ ｍ ｇ / ｌ (p H ８)

注) 暖流系の内湾海域において連続長期にわたる赤潮の発生をさけるための基準

表．水資 6 水産用水基準（底質）

海 域	河 川、湖 沼
・ C O D 20 mg / g （乾泥）以下 ・ 硫化物 0.2 mg / g （乾泥）以下 ・ ノルマルヘキサン抽出物質 0.1 % （乾泥）以下	・ 有機物などにより汚泥床、ミズワタなどの発生をおこさないこと。
・ 微細な懸濁物が岩面、または礫、砂利などに付着し、種苗の着生、発生あるいはその発育を妨げないこと。 ・ 溶出して、有害性を示す成分を含まないこと。	

表．水資 7 環境基準（海域の窒素・リン）

項 目 類 型	利 用 目 的 の 適 応 性	基 準 値		該 当 水 域
		全 窒 素	全 リ ン	
I	自然環境保全及びⅡ以下の欄に掲げるもの （水産2種及び3種を除く。）	0.2mg/ℓ 以下	0.02mg/ℓ 以下	第1の2の④ により水域類型 ごとに指定する 水域
Ⅱ	水産1種 水浴及びⅢ以下の欄に掲げるもの （水産2種及び3種を除く。）	0.3mg/ℓ 以下	0.03mg/ℓ 以下	
Ⅲ	水産2種及びⅣの欄に掲げるもの （水産3種を除く。）	0.6mg/ℓ 以下	0.05mg/ℓ 以下	
Ⅳ	水産3種 工業用水 生物生息環境保全	1mg/ℓ 以下	0.09mg/ℓ 以下	
測 定 方 法		規格45.4に定める方法	規格46.3に定める方法	
備 考				
1 基準値は、年間平均値とする。				
2 水域類型の指定は、海洋植物プランクトンの著しい増殖を生ずるおそれがある海域について行うものとする。				

- （注）
- | | | | |
|---|----------|---|-------------------------------------|
| 1 | 自然環境保全 | : | 自然探勝等の環境保全 |
| 2 | 水産1種 | : | 底生魚介類を含め多様な水産生物がバランス良く、かつ、安定して漁獲される |
| | 水産2種 | : | 一部の底生魚介類を除き、魚類を中心とした水産生物が多獲される |
| | 水産3種 | : | 汚濁に強い特定の水産生物が主に漁獲される |
| 3 | 生物生息環境保全 | : | 年間を通して底生生物が生息できる限度 |

表．騒資１ 騒音に係る環境基準（道路に面する地域）

地域の区分	昼 間	夜 間	地域の類型の該当地域
	午前 6 時～ 午後 1 0 時	午後 1 0 時～ 午前 6 時	
A 地域のうち 2 車線以上の車線を有する道路に面する地域	6 0 デシベル以下	5 5 デシベル以下	第一種低層住居専用地域 第二種低層住居専用地域 第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域
B 地域のうち二車線以上の車線を有する道路に面する地域	6 5 デシベル以下	6 0 デシベル以下	第一種住居地域 第二種住居地域 準住居地域 その他の地域
C 地域のうち車線を有する道路に面する地域	6 5 デシベル以下	6 0 デシベル以下	近隣商業地 商業地 準工業地域 工業地域

注）この場合において、幹線交通を担う道路に近接する空間については、上表にかかわらず、特例として次表の基準値の欄に掲げるとおりとする。

基 準 値	
昼 間	夜 間
7 0 デシベル以下	6 5 デシベル以下
備考 個別の住居地において騒音の影響を受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれると認めるときは、屋内へ透過する騒音に係る基準（昼間にあっては 4 5 デシベル以下、夜間にあっては 4 0 デシベル以下）によることができる。	

表．騒資２ 騒音に係る環境基準（一般地域）

地域の 類型	時間の区分		地域の類型の該当地域
	昼間	夜間	
	午前６時～午後１０時	午後１０時～午前６時	
A	５５デシベル以下	４５デシベル以下	第一種低層住居専用地域 第二種低層住居専用地域 第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域
B	５５デシベル以下	４５デシベル以下	第一種住居地域 第二種住居地域 準住居地域 その他の地域
C	６０デシベル以下	４５デシベル以下	近隣商業地 商業地 準工業地域 工業地域

表．騒資３ 騒音の規制基準

単位：デシベル

地域 \ 時間	午前８時から 午後７時まで	午前６時から８時まで及び 午後６時から１０時まで	午後１０時から 午前６時まで
第一種低層住居専用地域 第二種低層住居専用地域 第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域	５０	４５	４０
第一種住居地域 第二種住居地域 準住居地域	５５	５０	４５
近隣商業地 商業地 準工業地域	６５	６０	５０
工業地域	７０	６５	５５
工業専用地域	７５	７５	６５
その他	５５	５０	４５

表．騒資４ 三重県生活環境の保全に関する条例に基づく規制基準（騒音）

時間の区分 区域の区分	左記の区分に対応する規制基準		
	昼間（午前８時から 午後７時まで）	朝夕（午前６時から午前８ 時まで及び午後７時から 午後１０時まで）	夜間（午後１０時から 翌日午前６時まで）
第１種住居専用地域	５０デシベル	４５デシベル	４０デシベル
第２種住居専用地域 及び住居地域	５５デシベル	５０デシベル	４５デシベル
近隣商業地域、 商業地域及び準工業地域	６５デシベル	６０デシベル	５５デシベル
工業地域	７０デシベル	６５デシベル	６０デシベル
その他の地域	６０デシベル	５５デシベル	５０デシベル

表．騒資５ 飲食店等営業に伴う騒音の規制基準

22:00～翌 6:00

区域の区分	規制基準
第１種住居専用地域	４０デシベル
第２種住居専用地域 及び住居地域	４５デシベル
近隣商業地域、 商業地域及び準工業地域	５５デシベル
工業地域	６０デシベル
その他の地域	５０デシベル

表．騒資 6 三重県生活環境の保全に関する条例に基づく規制基準（振動）

時間の区分 区域の区分		左記の区分に対応する規制基準	
		昼間（午前 8 時から 午後 7 時まで）	夜間（午後 7 時から 翌日午前 8 時まで）
1	第一種住居専用地域・第二種住居専用地域及び住居地域	6 0 デシベル	5 5 デシベル
2	近隣商業地域・準工業地域・工業地域及びその他の地域（工業専用地域を除く）	6 5 デシベル	6 0 デシベル

* 用途地域－未指定